



## 介護 みんなで支える介護保険 No143

問 保健福祉課 介護保険係  
☎476-1111(136)

### ◆認知症について正しい知識を持ちましょう

最近、『認知症』という言葉が新聞やニュースで情報を得る機会が増えています。皆さんは『認知症』についてどうお考えでしょうか。ご近所に『あの人は最近もの忘れが多くなった』『フラフラと外に出掛けたまま遅い時間に帰宅する』『同じ質問を何度もする』といった様子の方はいらっしゃいませんか？

**認知症**とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態（およそ6か月以上継続）を言います。認知症を引き起こす病気のうち、最も多いのは、脳の神経細胞がゆっくりと死んでいく『変性疾患』と呼ばれる病気です。アルツハイマー病、前頭・側頭型認知症、レビー小体病などがこの『変性疾患』にあたります。続いて多いのが、脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などのために、神経の細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなり、その結果その部分の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れてしまう脳血管性認知症です。（引用元：厚生労働省HP）

認知症は誰もがかかる可能性があります。生活機能の向上による予防や、早期発見と適切な治療で症状を軽減させることが期待できます。

認知症からくるさまざまな言動や行動により介護（支援）する家族は大変な負担が生じますが、決して家族だけで悩んだりせず専門の機関に相談しましょう。本町においても高齢者の総合相談機関である『大崎町地域包括支援センター』が保健センター内に設置されています。認知症は家族だけの問題ではなく、地域で取り組む必要があります。そのためにはまず、認知症について正しい知識を持ちましょう。

大崎町地域包括支援センター TEL：471-7828  
(役場横保健センター内)



### 知っていますか？『認知症サポーター養成講座』

大崎町地域包括支援センターの事業のひとつに、『認知症サポーター養成講座』があります。

認知症サポーターは“特別な活動者”というわけではなく認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者のことです。

養成講座の内容には、認知症の症状・支援方法・治療方法・接し方・事例紹介などが含まれています。

(例) 認知症の症状が出ている方に対して心がけること

- 驚かせない ○急がせない ○自尊心を傷つけない など

また、養成講座終了後には認知症サポーターの証として『オレンジリング』が配布されます。

## 認知症について正しい知識を持ち理解することから始めましょう！

### ◆大崎町の介護保険事業の報告

介護保険事業の実績についての報告（利用者の1割負担を除いた大崎町の支払い分）

第1号被保険者（65歳以上の人）		4,868人	平成26年8月末日 現在
要介護（支援）認定者		971人	
給付実績	在宅介護サービス費	41,065,627円	平成26年7月の 給付実績
	施設介護サービス費	58,182,615円	
	その他（介護予防サービス費も含む）	33,039,681円	
	介護サービス費 合計	132,287,923円	